



Business Report

第201期 中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日



東武鉄道株式会社

証券コード：9001

株主の皆様へ、東武グループの概況についてご説明いたします。

取締役社長 根津嘉澄



Q 当上半期の業績について教えてください

A 株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当上半期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益や個人消費が大幅に落ち込み、景気は厳しい状況で推移いたしました。

当社グループにおきましても、外出自粛やテレワークの増加、また、インバウンド需要の消滅等、過去に経験したことのない厳しい状況となりましたが、お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業集団として、**新型コロナウイルス対策を講じ、お客様に安心してご利用**

いただけるよう最大限留意のうえ各事業を推進いたしました。

当上半期の連結業績は、**緊急事態宣言に伴う休業、その後も継続した出控え及び訪日外国人観光客の大幅な減少**により、営業収益は2,296億68百万円（前年同期比31.4%減）、営業損失は166億18百万円（前年同期は371億73百万円の営業利益）、経常損失は168億60百万円（前年同期は348億67百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は224億37百万円（前年同期は223億84百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

Q 中間配当について教えてください

A 当社は、長期にわたる経営基盤拡充のため、財務健全性に配慮しつつ、業績と経営環境を総合的に勘案しながら、安定配当を継続することを基本方針としております。

当期は、新型コロナウイルス感染拡大により、当社グループ全事業において大きな影響を受け、上半期は大幅な損失、通期においても**非常に厳しい業績見通し**となっております。

このような事業環境の中で、**安定配当を継続する**との考えのもと、中間配当においては**1株当たり10円**に決定させていただきました。なにとぞ

ご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、**期末配当につきましては、業績やその後の経営環境等を総合的に勘案のうえ、1株当たり10円～20円の配当を予定**しております。

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
当期	10円	10～20円 (予定)	20～30円 (予定)
前期	20円	20円	40円

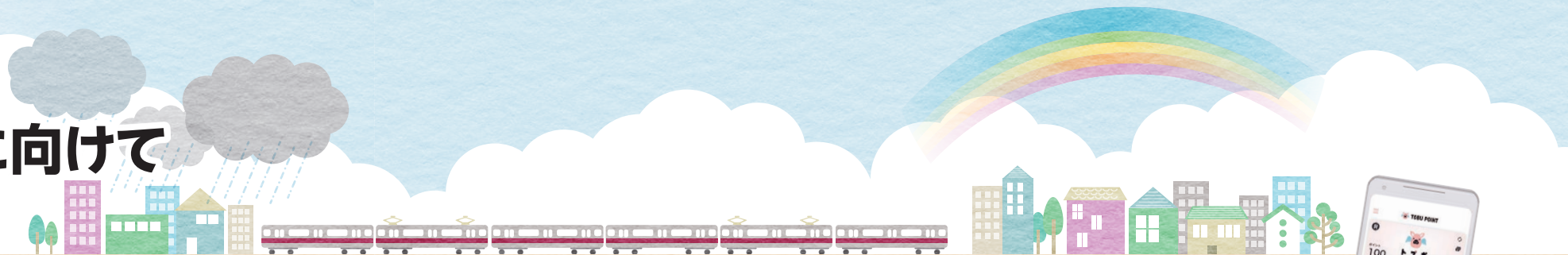
Q 今後の取組みについて教えてください

A 今後も、新しい生活様式の浸透等によりお客様のニーズが多様化することが考えられるなかで、当社グループは、生活を総合的に支える企業集団として、都市部・郊外部・観光地等多彩なエリアを有する沿線を中心に、この**事業環境の変化を新たな事業展開につなげるべく検討を進め、地域社会とともに持続的な発展に努めてまいります。**

なお、「東武グループ中期経営計画2017～2020」につきましては、事業環境が本計画策定時から大幅に変化している一方、前期の連結業績においては新型コロナウイルスの影響を除くと、目標とする経営指標及び参考経営指標について概ね達成することができたと考えることから、前期をもって終了いたしました。

東武グループの持続的な成長に向けて

事業環境の変化に適応した構造改革を推進し、耐性強化をはかってまいります。



生活ニーズの多様化に応える事業を推進します

都市部・郊外部・観光地を有する鉄道ネットワークを活かし、新たなニーズに応えるサービスを提供します。

鉄道利用でのTOBU POINT導入検討

➡ 鉄道乗車時にもポイントを付与することで、TOBU POINTの魅力を高め、グループ全体の収益・シナジーの拡大を検討してまいります。

グループ内ビッグデータの活用

➡ グループで保有するデータの調査・分析を強化することで、お客様のニーズを的確に捉えたサービスの提案・提供を目指します。

沿線の生活ニーズに応えるリテール事業の展開

➡ 東武ストアのさらなる成長をはかるとともに、スーパー・コンビニ・外食・生活支援等のリテールに関する事業の強化を目指すことで、沿線の生活利便性向上をはかります。

日本初の“環境配慮型”観光MaaS*の導入検討

➡ 鉄道とEV(電気自動車)カーシェアリング等のエコモビリティや観光施設等をつなぐ「日本初の環境配慮型・観光MaaSを導入し、栃木県と連携した環境にやさしい観光地づくりを推進することで、“国際エコリゾート日光”としての地位を確立します。

ライフスタイルの変化を踏まえたスペース活用

➡ 沿線各地でのサテライトオフィスの拡大や日光エリアでのワーケーション推進等、新たなニーズを捉えた事業を推進し、沿線の利便性向上をはかり、訪れたい・住みたい沿線を目指します。

ゆとりや自然との調和を意識した開発推進

➡ 郊外での居住ニーズの増加を捉え、当社沿線の持つ強みを活かした住宅開発を推進し、選ばれる沿線を目指します。

東京スカイツリー 東京のシンボルへ

➡ 東武タワースカイツリーが東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会オフィシャルサポーターに就任し、東京スカイツリーのさらなる認知拡大をはかるとともに、話題を提供し続け、常に注目を浴びる存在を目指します。

*MaaS(モビリティ アズ ア サービス):
利用者の目的や嗜好に応じて、マイカー以外の最適な移動手段等を一括して提供するサービス

事業構造の変革等により経営体質を強化します

事業運営体制と各種コストの見直しにより、省力化と効率化を進めます。

新しい東武のポイントサービス

「TOBU POINT(トブポ)」を開始しました!

【対象施設】 TOBU POINT 加盟店

(東武百貨店や東京ソラマチ、東京スカイツリー、東武ストア等約100施設)

「TOBU POINT アプリ」をスマートフォンにダウンロードすることで、アプリ提示での現金決済やPASMO決済においてもポイントがたまるようになりました。

3つの魅力

1

さらに
ためやすく!

PASMOでも
ポイントがたまる
※登録が必要です

現金利用でも
ポイントがたまる

2

おトクな
サービスが新登場!

アプリ限定の
クーポンプレゼント

おトクな
キャンペーン情報を配信

毎日挑戦!
ポイントが当たるゲーム

3

さらに
便利に使いやすく!

1ポイント=1円から
ポイントが使える

1P = 1円

※加盟店により内容が異なります



▲ TOBU POINT
キャラクター

「TOBU POINT」のさらに詳しい情報は、公式ホームページに掲載しております。 <https://www.tobupoint.jp/>

※お問合せ先: (株)東武カードビジネス TEL 03-5396-6561 (10:00~17:00、年中無休ただし1/1は除く)



2020年度第2四半期 決算のポイント

運輸事業

一部特急列車や高速バス等の運休を除き、社会の要請に応えるべく概ね通常の運行を継続いたしましたが、出控えやテレワークによる定期・定期外収入の大幅な減少により営業収益は757億72百万円(前年同期比32.4%減)となり、工事計画の見直しや賞与支給減をはじめ様々な支出削減に努めたものの営業損失は64億73百万円(前年同期は229億6百万円の営業利益)となりました。

レジャー事業

休業や営業の縮小を余儀なくされたほか出控えによる国内旅行客の大幅な減少や入国制限による外国人観光客の急減等により、営業収益は149億9百万円(前年同期比60.3%減)、営業損失は128億19百万円(前年同期は20億2百万円の営業利益)となりました。

不動産事業

商業施設における休業や賃料減免等により、営業収益は231億99百万円(前年同期比36.9%減)、営業利益は57億81百万円(前年同期比31.0%減)となりました。

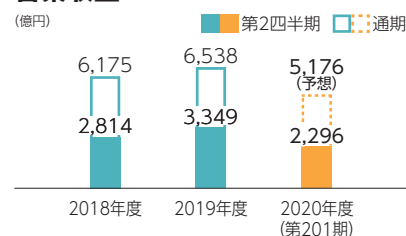
流通事業

内食需要の増加によりストア業は増収増益となったものの、百貨店業において休業に加え外国人観光客による売上が大幅に減少したこと等より、営業収益は1,008億71百万円(前年同期比23.4%減)、営業損失は31億53百万円(前年同期は15億61百万円の営業利益)となりました。

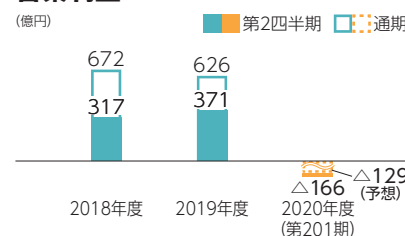
その他事業

営業収益は423億30百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益は3億9百万円(前年同期比89.4%減)となりました。

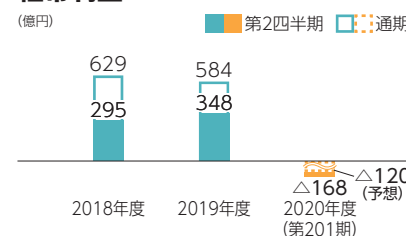
営業収益



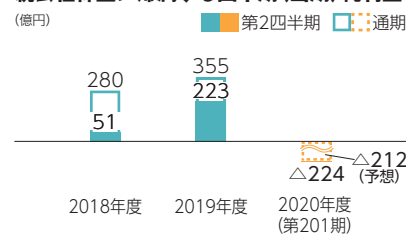
営業利益



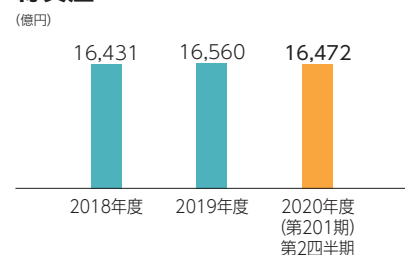
経常利益



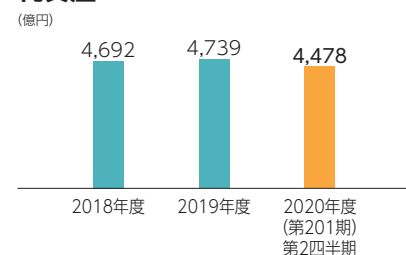
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産



純資産



さらに詳しい情報は、当社ホームページに掲載しております。

<https://www.tobu.co.jp/ir/>



株主ご優待券が、
さらにお得に！
ご利用しやすくなりました！



株式数	発行数	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)
100株以上 200株未満	—	1冊
200株以上	1冊	1冊

割引 東武ホテルグループ「宿泊ご優待割引券」

公式料金の30%割引
になりました！

従来よりお得に
ご宿泊いただけます！

割引 東武ホテルグループ「飲食ご優待割引券」

飲食代金の10%割引

ご利用いただける
レストラン等が増えました！



国内初上陸ブランドから
クラシックホテルまで、観光でも
ビジネスでも多様なシーンでお使い
いただける進化した東武グループの
ホテルをお楽しみください！



ホテル事業戦略部
尾下さん

※ ご宿泊及びご飲食のご予約・お問合せは各ホテルに直接ご連絡ください。
※ 対象のホテル及び施設等の詳細につきましては、お手元の株主ご優待券の記載事項をご覧ください。



割引 東武スポーツクラブ

割引利用券が3枚
→5枚に増えました！

施設利用料
1名様1回
1,100円で
利用可能



割引 東武藤が丘カントリー倶楽部／星の宮カントリー倶楽部／宮の森カントリー倶楽部／朝霞パブリックゴルフ場

プレー料金の割引 1名様につき
●土日祝日 ……2,000円割引
●平日 ……1,000円割引

ご利用いただけるゴルフ場に
朝霞パブリックゴルフ場
を追加しました！

会社概要 (2020年9月30日現在)

商 号 東武鉄道株式会社
 設立年月日 1897年11月1日
 本店所在地 東京都墨田区
 押上一丁目1番2号
 資本金 1,021億3,597万1,747円
 従業員数 3,533名
 発行可能株式総数 4億株
 発行済株式の総数 2億981万5,421株
 株主数 6万534名
 事業内容 ① 鉄道事業
 ② 不動産事業
 ③ その他の事業

役員 (2020年9月30日現在)

【取締役】

代表取締役社長 根津 嘉澄
 代表取締役 三輪 裕章
 取締役 関口 幸一 小代 晶弘
 小野寺 敏明 横田 芳美
 山本 勉 重田 敦史
 柴田 光義 安藤 隆春
 矢ヶ崎 紀子 柳 正憲

【監査役】

常勤監査役 中嶋 直孝 大塚 博哉
 監査役 茂木 友三郎 福田 修二
 林 信秀

【執行役員】

社長執行役員 根津 嘉澄
 副社長執行役員 角田 建一
 専務執行役員 三輪 裕章 関口 幸一
 小代 晶弘 小野寺 敏明
 横田 芳美 山本 勉
 吉野 利哉 重田 敦史
 執行役員 吉田 辰雄 鈴木 熊野
 杉山 知也 高野 寿久
 木村 吉延 田邊 哲也
 石附 栄一 福原 秀之
 岩澤 貞裕

株主メモ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 配当金受領株主確定日 期末配当金 毎年3月31日／中間配当金 毎年9月30日
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 公告の方法 電子公告
<https://www.tobu.co.jp/koukoku/>

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがつかないため、
本年は、「株主様向け施設見学会」を中止とさせていただきます。

各種手続きのお問合せ先

● 住所変更、相続

● 配当金受取方法の変更

● 単元未満株式の買取・買増請求

証券口座にて
 株式を管理されている株主様

▶ お取引のある証券会社等

証券会社との
 お取引がない株主様

▶ 三井住友信託銀行(特別口座管理機関)

TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)

東武鉄道株式会社

〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号
 TEL.03-5962-2067

※「東京スカイツリー」は、東武鉄道㈱及び東武タワースカイツリー㈱の登録商標です。
 また、「東京ソラマチ」は東武鉄道㈱の登録商標です。



この印刷物は、視認性が高く読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
 また、FSC®森林認証紙を用いて「森林資源の保全」に、植物油インキを用いて「大気保全」に配慮しています。くわえて印刷に使用した電力(1,176kwh)は、バイオマス発電によるグリーン電力により賄うとともに、環境に配慮した資材と工場で印刷しています。なお、印刷用の紙に再生できますので、不要になった際は古紙回収・リサイクルにお出ください。